

3-3 計画理念

3-3-1 方向性の整理

(1) 「将来都市像」に関するポイント

上位計画・関連計画の記述から、札幌市が目指す「将来都市像」に関するキーワードを抽出したところ、以下のとおり整理できます。

【札幌市が目指す将来都市像の整理】

- 第4次札幌市長期総合計画
- 札幌市都市計画マスタープラン

北方圏の拠点都市・新しい時代に対応した生活都市
市街地の外延的拡大の抑制
多中心核都市構造
都心縁辺部、地下鉄沿線等への居住の誘導
環境低負荷型都市構造・持続的発展
持続可能なコンパクト・シティへの再構築
都心の再生・再構築
多様な住まい方を支える高い居住環境の実現
市街地の外の自然環境の保全と活用
オープンスペース・ネットワークの充実・強化

【道央都市圏が目指す将来都市像の整理】

- 道央都市圏
都市交通マスタープラン

地域特性に応じた多様な都市機能集積
北国の文化の継承
誰もが安全安心に暮らせる都市
札幌都心の多様な機能の高度集積
北海道経済の牽引と持続的成長
観光、物流、医療の拠点
道内、国内、国外の人と地域の交流
環境負荷の低減
豊かな自然環境との共生
田園居住や創造的都市活動など多様なライフスタイルの実現

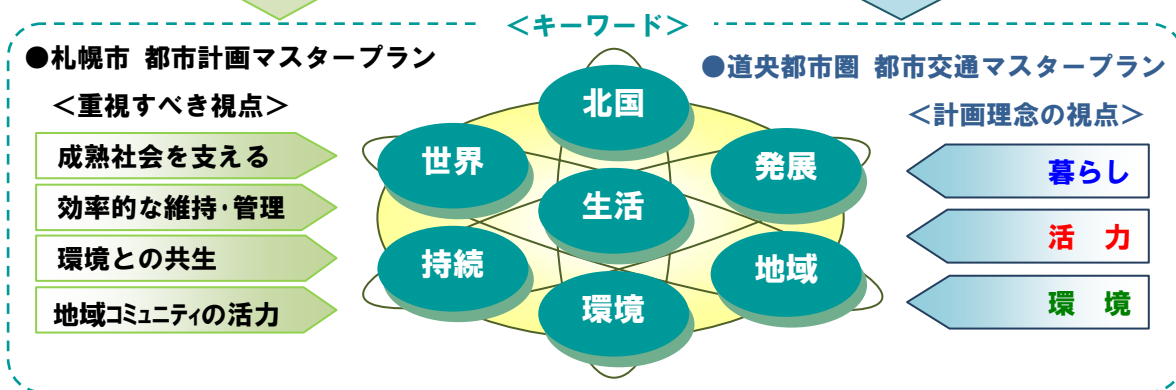


表 3-1 上位計画等から導かれる「将来都市像」の方向性イメージ

北国	北方圏の拠点都市として、積雪寒冷の気候に対応した北国の文化を継承します。
生活	多様なライフスタイルを選択でき、誰もが安全安心に暮らせる生活環境を実現します。
持続	効果的な維持・管理を図り、人口減少下においても持続可能な成熟社会を実現します。
発展	北海道経済を牽引する中心都市としての役割を担い、持続的な発展・成長を目指します。
世界	新しい時代に対応し、国内外との交流を促進します。
地域	都心や駅周辺での居住促進など、地域コミュニティの再生を図ります。
環境	地球温暖化などの環境への負荷を低減します。 市街地拡大の抑制など豊かな自然環境と共生を目指します。

(2) 「都市交通」に関するポイント

同様に、札幌市が目指す「都市交通」について整理したところ、以下の取り組みの方向性から、今後、必要な交通施策等を展開するために“3つのバランス”が重要です。

【札幌市が目指す都市交通の整理】

- 第4次札幌市長期総合計画
- 札幌市都市計画マスタープラン

公共交通を軸とした交通体系の確立
適切な自動車交通の実現
広域的な交通ネットワークの充実
総合的な交通ネットワークの確立
地域特性に応じた交通体系の構築

【道央都市圏が目指す都市交通の整理】

- 道央都市圏
都市交通マスタープラン

歩いて暮らせるまちづくり
公共交通の維持
“つくる”から“活かす”“上手につかう”へ。
＜交通の基本方針＞
「暮らし」：年間を通じて、どんなときも、誰もが安全、安心に暮らせる利便性の高い交通環境を実現。
「活力」：都市拠点、産業拠点の育成と国内外に魅力をもつ拠点間の交流・連携を支えるなど北海道経済を支えるモビリティを確保。
「環境」：環境に優しく、持続可能な都市を支える交通環境を実現。

＜3つのバランス＞

＜公共交通と自動車＞

「公共交通を軸とした交通体系の確立」と「適切な自動車交通の実現」による「公共交通と自動車」のバランス。

⇒ **公共交通の利便性向上等による“適切な自動車利用”への誘導**

＜整備と活用＞

“つくる”から“活かす”“上手につかう”といった視点の転換に伴う「整備と活用」のバランス。

⇒ **既存施設・空間を活用した“効率的な交通サービス”の提供**

＜行政、市民・企業、交通事業者の役割＞

「公共交通の維持」や「地球温暖化対策」に対する「行政、市民・企業、交通事業者の役割」のバランス。

⇒ **行政、市民・企業、交通事業者の三者で“役割の共通認識”を形成**